

(様式第 2 号)

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 6 年 4 月 1 日

所在地 山梨県南巨摩郡早川町大原野 651  
企業名 株式会社生態計画研究所 早川事業所  
代表者 事業所長 大西 信正

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

弊社の理念は「生きものと人との共生社会の実現」であり、SDGs の目指す理念と軸を同じにすることであり、既存事業をより推進することで SDGs の達成に貢献します。

| 3 側面<br>(主な分野に☑)  | SDGs 達成に向けた重点的な取組                 | 2030 年に向けた指標                                    | 重点的な取組及び<br>指標の進捗状況                        |              |
|-------------------|-----------------------------------|---|--|--------------|
|                   |                                   |   | 登録年月日：令和 5 年 4 月 1 日                       |              |
| ☑環境<br>□社会<br>□経済 | 生物多様性の保全のための希少種保護や植生の保全           | 植生回復エリアの設置<br>現状：試験的設置<br>⇒2030 年：エリアの拡大と希少種の保全 | 試験的設置の継続とモニタリングを行う。<br>指標の現状値：現状維持         | (進捗率)<br>30% |
| ☑環境<br>☑社会<br>□経済 | SDGs を学ぶプログラムの実施や CSR 活動の受入れを推進する | 実施および受入れ数<br>現状：年 5 回<br>⇒2030 年：年 10 回         | 県内企業や県内外の学校へ SDGs プログラムを実施。<br>指標の現状値：6 回  | (進捗率)<br>60% |
| ☑環境<br>☑社会<br>☑経済 | エコツーリズムの推進のための自然体験や環境教育プログラムの実施   | 実施回数<br>現状：年 90 回<br>⇒2030 年：年 130 回            | 一般の方や団体へ 54 種類のプログラムを実施。<br>指標の現状値：年 101 回 | (進捗率)<br>77% |

2030 年の目指す姿

弊社のある早川町は南アルプスユネスコエコパーク登録地であり、人と自然の共生する持続可能な地域のモデル地区であります。そのため弊社は地域の生物多様性が向上し、その資源を利活用することで地域の活性化につなげる事業に貢献します。

【記載留意点】

- 上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、(様式第 3 号)「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」(要件 2)に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重

点的な取組」を記載してください。

- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の**3側面の全てについて**重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。